

第60次南極地域観測隊(JARE60)

<研究観測トピックス>

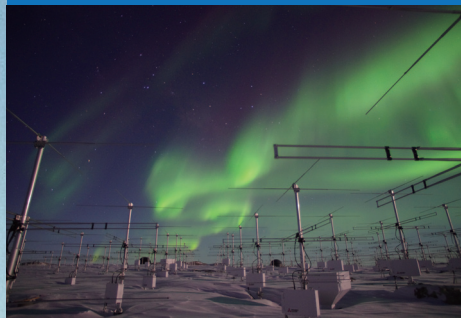
南極大気精密観測から探る全球大気システム

昭和基地での PANSY レーダー、ミリ波分光放射計、高速オーロラカメラ、UAV、特殊ゾンデ観測

- 電波やレーザー光、ミリ波放射を用いて南極上空の波動・循環・温度・組成変動を捉える
- 宇宙からの降下荷電粒子が地球大気に与える影響の調査
- PANSYレーダーの通年フルシステム観測を実施
- 60次夏期間に世界の8つの大型大気レーダーを中心とした大型大気レーダー国際協同観測 (ICSOM) の第4回キャンペーン観測を実施

ねらい

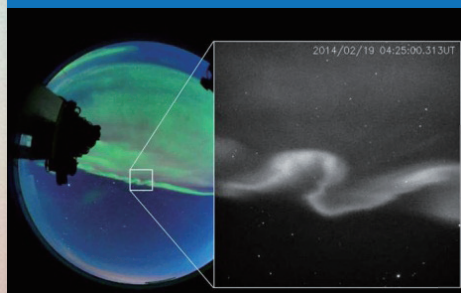
PANSY レーダー



ミリ波分光放射計



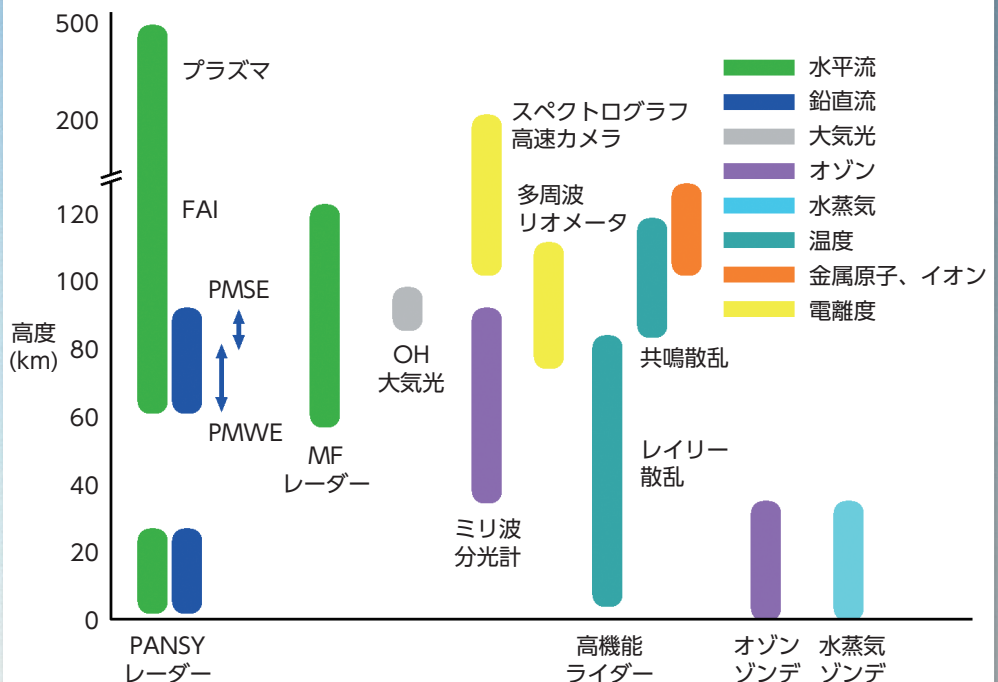
高速オーロラカメラ、スペクトログラフ



UAV 搭載乱流計



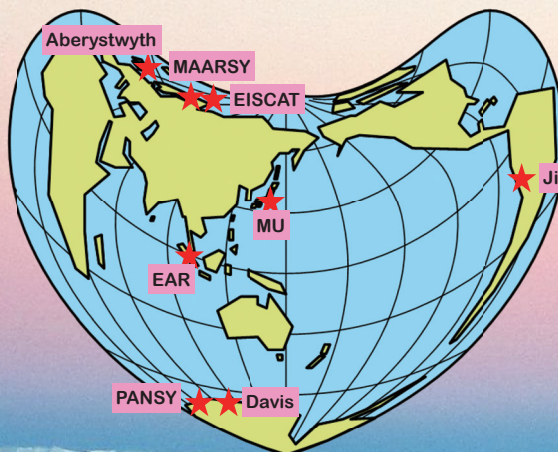
第 IX 期研究観測計画



昭和基地で実施する大気観測とそれぞれの観測高度・物理量

大型大気レーダー国際協同観測

(ICSOM: Interhemispheric Coupling Study by Observations and Modeling)



期間：2019年1～2月

PANSYレーダーに加え、世界各国の大型大気レーダー (MU、MAARSY等)、各種電波・光学観測装置が参加予定

SCOSTEPの国際キャンペーン観測

現在の地球環境変動の把握と理解、そして将来予測の精度向上へ
人類のこれからの行動を考える手がかりに